

#### セルフチェックテストの目的

1. 受講者自身がその日に学んだ内容の理解度をチェックする
2. 共通して理解が低かった点について、講義の補足を行う

### セルフチェックテスト 1

範囲： 目録検索，登録総論/所蔵登録，マニュアル等，流用入力階層なし

- 間違いの多かった問題等について解説を行う。
- テスト結果から理解度に不足の見られる受講者については，演習中等，進度に注意を払うようにする。
- セルフチェックテスト 1 の問題の範囲は，2 日目以降の講習内容の基礎になる考え方なのでしっかりと理解してもらおう。

#### 【解答の確認の例】

適宜問題に対応して検索用インデクスの説明を行う。

検索上の注意点を復習する。

p.53 の流れ図を復習する。

### セルフチェックテスト 2

範囲： 流用入力階層あり，流用入力出版物理単位，総合目録 DB からの流用入力，補講 1 リンク先レコード作成

- 間違いの多かった問題等について解説を行う。
- テスト結果から理解度に不足の見られる受講者については，演習中等，進度に注意を払うようにする。

#### 【解答の確認の例】

ここまで，色々なケースが出てきたので，次のことをもう一度確認するとよい。

p.19-24 書誌階層，出版物理単位といった書誌単位について

p.60 の参照ファイルからの流用入力概念を，もう一度確認するとよい。

また，付録 8 は流れの中では触れず，この解説で使ってもよい。

### セルフチェックテスト 3

範囲： 書誌新規入力，書誌修正，補講 2 レコードの削除，補講 3 書誌修正指針，補講 4 参加組織情報

- 間違いの多かった問題等について解説を行う。

#### 【解答の確認の例】

全体のまとめとして，特に注意して欲しい点を重ねて説明する。

## 自由演習・まとめ

### このコマの進め方

1. 時間中にこなせなかった課題を行う／独自の課題・実物を用意する等，自由に進めてよい。
2. NACSIS-CAT/ILL ホームページの紹介のまとめを行う
3. まとめ

### 説明のポイント

#### 自由演習

受講者が共通して誤解している部分，理解が不足していると思われる点について，適宜説明・デモを行う。

#### マニュアル・ツール類の紹介

- 現場に戻って実際に業務を行う際，マニュアル類を常に参照すること。また，ニュースレターには必ず目を通すこと。
- わからないことがあったら，以下のツールを使うと便利であることを紹介する。  
→「ツール」のタブ  
NACSIS-CAT/ILL Q&A DB(DB検索)  
NACSIS-CAT/ILL 質問受付
- 平成23年度テキスト改訂で巻末に索引をつけた。講習会後にも，わからない用語や疑問に思うことを調べたり，またより詳しく知るには，マニュアル類で確認することを習慣づけるよう促す。

#### まとめ

- 講習中気づいたことなどを説明する。
- 随時NACSIS-CAT/ILLのホームページをチェックし，各種マニュアル等の最新情報を確認して欲しいことを伝える。
- 講習会で使用したクライアントは，各機関が業務で使用するクライアントとは異なるので，画面および操作については，帰ってから必ず確認をして欲しいことを伝える。
- ただし，画面構成や操作方法が違ってても，データベースの構造(ファイル・レコードの種類とその内容，および各ファイル・レコード間の関係等)，データ入力基準や，データベースを構築していく上で，目録検索・登録操作全体の流れ，操作を行う上で確認・判断していく事柄等は共通であり，この講習会で覚えた内容は有効である旨伝える。